

「Yang Ndu とは誰？」

—ヴェトナム少数民族居住区におけるキリスト教の昔話利用法について

本 多 守

I. はじめに

筆者は2000年よりヴェトナム・ラムドン省において少数民族の親族組織、社会構造の変化について調査研究をしているが、このたび、ラムドン省北部⁽¹⁾に居住するコホー族チル集団より、スレ⁽²⁾語で書かれた彼ら自身の昔話を利用したキリスト教の教本の写しを手に入れた。この資料は、キリスト教伝道のために少数民族の教会指導者に配布された内部資料であり、類いの資料は、現時点まで我が国で紹介されたことが稀有であると考えられる。本稿の目的は、教本の聖書を除いた部分を翻訳し、研究資料として提供することにある。次に、キリスト教がどのように彼らの昔話を利用していたか若干の分



図1 ラムドン省の位置 (Wikipedia より引用)

析をすることとする。分析には竹田英尚『キリスト教のディスクール』[竹田 2000]を一部参考にした。竹田はこの本の中で未知の国々に踏み入る西洋人にキリスト教がどのように貢献したか、異文化に接触したときキリスト教がどのように機能したかを捉えようとしている。まさにこれから紹介する資料は、その生の資料である。

1. チル集団とキリスト教

チル集団は1930年代よりクリスチャン・アンド・ミッショナリー・アライアンス (Christian and Missionary alliance) の牧師⁽³⁾から宣教された。当時、彼らは焼畑耕作民であり、山岳部に散居していた。しかし、南ヴェトナム政府は、彼らがヴェトコンと接触するのを避けるために、彼らを下山、定住化させた (1962年 戦略邑政策⁽⁴⁾)。多数のチル集団の人々は自分たちの先祖の耕作地から離れ、戦略邑の近隣で従来の生業のトウモロコシ栽培をするか、あるいは新たに水稻耕作をするか、耕作地がなければ薪を拾って市場で売ることによって生計を立てた。こうした中で、戦略邑内には教会が建設され、人々の新たな宗教的基盤となりつつあった (図2参照)。1966年以降は、キリスト教系ミッションの布教が、宣伝、普及、社会救済計画という政策の一環として行われていった [Hội Thánh Tin lành Việt Nam (Miền Nam) 2001 : 6 - 7]。何人ものインフォーマントに聞いたが、戦略邑内で改宗しない者はほとんどいなかったという。また、教会も食糧援助を行い、改宗を促進した。

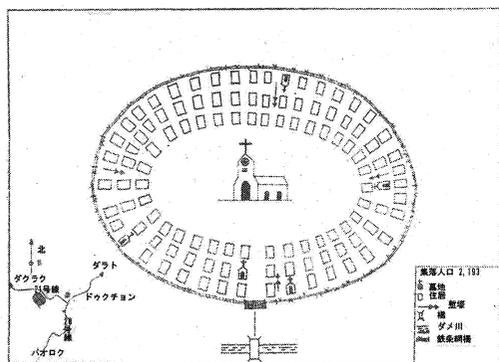


図2 ドウクチョン県ストルハー社ダム戦略邑 (1974.6.25以前)

布教の結果、現在ではチル集団のほとんどが、その信徒である。クリスチャン・アンド・ミッションナリー・アライアンス（ベトナム・プロテスタント聖会（南部）⁽⁵⁾）は1975年の革命後、2001年3月に正式に宗教法人格を与えられるまで、公然とした宗教活動が制限されてきたが、現在では、国家公認宗教団体となっている。なお、コホー族に占めるプロテスタント信徒数は、2000年のデータで35,000人、コホー族全人口の40%近くに上る [Bùi Minh Đạo 2003: 182-183]。

2. 資料について

資料の言語表記はコホー語のスレ語である。ラムドン省に居住する少数民族は、コホー族スレ集団を含め元々無文字であった。このうちのスレ集団の言語は、1975年以前にアメリカの SIL インターナショナル (Summer Institute of Linguistics International)⁽⁶⁾によって言語の文字化がなされた⁽⁷⁾。現在、ラムドン省におけるクメール系少数民族に対する宗教関係の資料は、聖書も含めて全てこの文字を用いて表記されている。スレ語はラムドン省に居住するモン・クメール系民族の標準語として彼らの中に位置している。日常会話においては、チル語とスレ語、あるいはスレ語とほかのモン・クメール系民族の言語は若干発音、語彙ともに異なるが、相互的意思疎通は可能である。

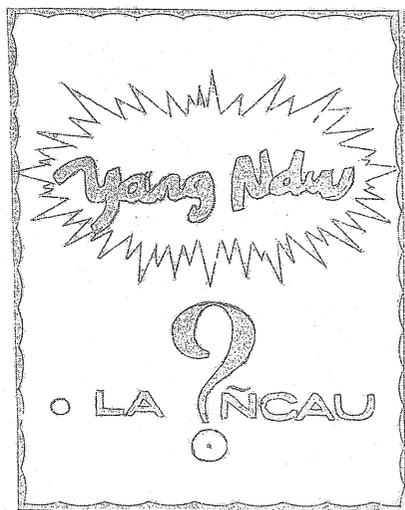


写真1 「Yang Ndu とは誰？」資料の表紙

手に入れた資料は2001年9月2日発行だが、再販らしい。Mãng Ling (光) Mãng Lo (闇) の伝承の中にキリストの死を1940年前と記述がある。キリストの死を紀元30年とすれば、1970年以降に初版発行されたものと考えられる。人々の話によれば、革命前というので、恐らく1970-75年の間に発行されたもののリプリントだろう。

資料の構成は次のようになっている。

1. 天地創造の昔話、
2. 人間創造についての昔話、
3. 人間が才能を失った話、
4. 山に対する禁忌と崇拜の伝承、
5. 水が増し海になる (大洪水) 伝承、
6. Mãng Ling (光) Mãng Lo (闇) の伝承

これらの話の後に、対応するとみなされている聖書の部分が記されている。本稿では、聖書の部分の翻訳はしていないが、聖書のどの部分が書かれているのかわかるように明記してある。昔話部分の翻訳は、筆者と資料を入手したチル集団の人々、およびスレ集団の人々に協力してもらった。資料の翻訳方法は、若干わかりにくいかもしれないが、スレ語の意味が損なわれないように逐語訳に近い形でしてある。有名でない神霊の名称、人名、地名のような固有名詞については原文のスレ語表記のままにしてあ

る。なお、資料の翻訳出版については地区の正式牧師（チル集団）の許可をいただいた。

Ⅱ. 「yang ndu とは誰？」

1. 天地創造の昔話

親愛なる父母兄弟たちよ。今、私は大昔の天地創造について聴かせたいと思う。我が Kôn Cau の祖先に従い、そして書かれた天の書（聖書）に従って……。

最初は、我が祖先から我々に伝えられてきたものを示し、次は聖書にかかれたものを示す。

我が祖先たちは次のように言う。「天と地は Brah Yang によって世に出、ガマガエルと魚は Brah Yang によって塑造され、兄弟姉妹も Brah Yang によって、名付けられた」

また、わが祖先たちによれば、Brah Ndu はもっとも偉大な Yang である。彼らは言う。「Yang Ndu は Yang 天地を創造した yang である。」しかし、天を造ったものの、まだ天穹は低く、地もまだどろどろだった。人がこちらをたたくとあちらが揺れ、あちらを叩けばこちらがまわった。天地はいわば夫婦のようであった。それで、Yang Ndu は brài の木を紐のように張り、天穹を支え、地との間に logar dunnia（塵界）を造ったのである。

天地が整うと、Yang Ndu は地球上で日中には太陽が照らし、夜を月が照らすこととした。そのために歳月が存在でき、1年は12か月、1月は30日、1年は360日なのである。そして、夜空に幻惑の光を放つあらゆる星、大きいものから小さなものまで順に造った。あらゆる星は次のように名付けられた。最初の星は月に近い Bing であり、次の星は Torwing という我々が種を蒔く月に見ることができる。第3は、kroi で、またの名を Tiäng と呼ぶが、この星は時としてみえなくなることもある。第4は Rhaili で、天穹に美しさ、かわいさを与えているものである。

天上のものすべてを造り終えると、4つの足のもの、地上のあらゆる爬虫類、空中を飛ぶあ

らゆる動物を造った。次のような言い伝えがある。

「砂で K'Chieng は雀を造ったあと、岩で K'Chieng は虎を造り、虎を造ると虎が食べる肥えた豚を造った。鳥類、雀、コブラを造り、そして、年を記憶するためにたくさん作ってかき集め、切り、水を飲むために雄と雌を造ったのである」

上述のものは、我々 Kôn Cau の祖先に従い、我々が聞いてきた天地創造からの昔話である。今日聖書は天におわします神（Yang）について語り、我々に次の真実を知らしめる。

「あらゆるものよりも偉大な神（Yang）は Yang Ndu という名ではなく、天におわします神（Yang）である。天におわします神は Hwing⁽⁸⁾であり、形もなく、体もありません。Botau⁽⁹⁾は死ぬことなく永久の存在で、我々には見るできない。天におわします神は唯一の神であり、全能で、永遠に壊れないのである。」

天地創造について旧約聖書の創世記1章は次のように語る。（以下 旧約聖書 創世記1章25節まで引用 翻訳省略）

上述したすべて⁽¹⁰⁾は、事実であり、全て信じるべきである。すべてをそれに従えば、天におわします神はそのお言葉にあるように権能から全ての天地、万物を造られたのである。そして天におわします神は人間が住むことができるように天地を造られた。それから天におわします神は人間を造られたのである。

2. 人間創造についての昔話

我々の祖先は語った。「Yang Ndu が K'De と K'Nge を作り出した。K'De は K'Nge と結婚して K'Do, K'Dong, K'Jon, K'Jan を産んだ。K'Jon は K'Jan と婚礼を挙げ、K'Rong と K'De を産んだ。K'Rong は K'Bran と結婚し、K'Tông, K'Tang を産み、ランビアン山のふもとに住ん

だ。それで言い伝えは次のとおりである。

「大昔、人はまだ住む家も、今晚はかりそめの宿、翌晩は車座に抱き合い、Bang Ding の竹の管の中で寝た。飲み水も食べる米もなく、しかたなく小便を飲んだ。稲もなく米もなく、とりあえず葉のニガヨモギを食べ、家はなく、番小屋はなく、石穴に住んだ。井はなく、茶碗もなく、コップもなく、仕方なくバナナの皮で食べ、豚も水牛もまだなく、散らばった大きな石があるだけだった。

「天地がまだ揺らいでいたころ、Nghe の子 Do よ。Nghe の子 Dong よ。誰が天を造ったのか？誰が月を造り、太陽、星を造ったのか？誰が鳥を撃ったのか？誰がアブを撃ったのか？誰が子供にきゅうりをあげたのか。Tông おじさんはダムドゥクのふいごを造り、Tang おじさんはダムドゥンのふいごを造り、Yut おじさんはダムダンのふいごを造った。誰が手足を素早く動かさねばならぬふいごを造り、誰が長い手足の必要な弩を作り、賢明な人は斧も鉋も持たず、石を使って（身）を守り、雷が撃つ。彼らは鍛造を知っているので穴⁽¹¹⁾のある斧を作ることができる。彼らは穿つことができるので、斧の刃を作ることができる。彼らは大きなガジュマルの木を切ることができるので、騒がしく音をたてる。Toc おじさんは bung の木を切り樹液を出し、Tông おじさんは大きなガジュマルの木を切り樹液を出し、Tang おじさんは jrang-liäng⁽¹²⁾ の木の樹液を出し、Tiang おじさんは、Jri おじさんは巨大な猪 (jorke rnoang) を挿し、槍を投げる。大きな枝にいた孔雀は髪の毛で作った罫にかかり、蜂の巣の蜜を手でかき集め、低いガジュマルの木はブルムが頭にのせ、khai-tiäng-nir Bál-Biäng の石にはブルムは到達せず、Chon-Torwing⁽¹³⁾ の田はブルム人によって足で踏まれる。平野のブルムはブルムの成否を調べようとしたが誰も行かれず、ブルムはがっくりして家に帰った⁽¹⁴⁾。

これはすべてわが祖父、父が人類創造に関す

る語りである。このことは正しくない。人類創造に関する天におわします神の言葉は創世記に次のように書かれている。

(以下創世記 1 章 26 節 - 31 節の人類創造について引用されているが、翻訳を省略する)

それでは、天におわします神が人間を造られたのだろうか？

(以下創世記 2 章 7 節, 18 節, 21 - 24 節 - 1 男性のアバラ骨から女性を造る場面—が引用されているが、翻訳を省略する)

Kon Cau の昔からの婚姻について男性が女性に従うことは、聖書が人間の祖先について書いてある。このように、最初から最後まで、聖書は正しいのである。

3. 人間が才能を失った話

1) Jri Bang と Klang Saya (最大のガジュマルと最大の鷹サヤ)

祖先たちは次のように語った。K'Jong は魚を掬いに行き鷹の卵を手に入れた。K'Jang は魚を掬いに行き、ガジュマルの種を手に入れた。K'Jong は卵を温め、K'Jang は種を植えた。ガジュマルは日々大きくなり、鷹も日々大きくなった。鷹は大きくなって、大きくなったガジュマルに住むようになった。その鷹は克蘭サヤと名づけられた。鶏を食べると、豚を食べ、豚を食べ終えると水牛を食べ、水牛を食べ終えると、人間を食べた。言い伝えによれば次のとおりである。

「ガジュマルをこのままにしておけば子孫の種が絶えてしまう。このガジュマルのせいで Kon Cau が食べつくされてしまうぞ。私のバナナの茂みのような肥えた豚もどうすればいいんだ。おーい、Tông, Tang おじさん。私の丘の茅のようなたくさんの水牛もいなくなってしまう。おーい、Tông, Tang おじさん。こ

のガジュマルの木を切らないでいったい何を
しているんだい。おーい, Tông, Tang おじさん。
お前の鋭い斧の刃でガジュマルの木は切られ樹
液を出し, お前の鋭い斧の刃で, 非常に堅い幹
を切り, お前の鋭い斧の刃で Jrang Tôliăng⁽⁶⁵⁾
を切り, 斧の刃が鋭くなければ, 天のガマガエ
ルの斧を借りろ。お前の斧の刃が鋭くなければ
Culi という猿の斧を借りろ。斧の刃が鋭くな
ければ, Dong の母の斧を借りろ。お前の斧の刃
が鋭くなければ Yông 蜂⁽⁶⁶⁾の斧を借りろ。お
ーい, Tông, Tang おじさん。巨大になったガジュ
マルの木を切ってくれ。

彼らは大きいガジュマルを切ろうとした。し
かし朝切れば夕, 夕に切れば夜には元に戻って
しまった。

2) 天のガマガエルはガジュマルを切るのを手 伝う

天のガマガエルは進言した。

「ガジュマルを切ろう。おーい, Tông,
Tang. ガジュマルを切るよ。この木の受け口
切りの準備を, この木の受け口の塊を取る準備
を, そして大きな追い口切りを, 丈夫な天の斧
である ling long の斧を準備しろ。

持ち主の斧の刃の表面は磨耗し, 斧の持ち主
の真っ赤に焼けた刃は, 水に浸けろ。お前は川
の水をすくい, 固くするために水に浸せ。お前
は酒を準備し, 灼熱で真っ赤になるように斧の
刃を酒に浸せば, きっと固くなる。お前は古い
鉦を準備して鷹を撃つ時の盾にしろ。お前は古
い酒甕を準備して酒を炊け。お前は昔の人が猪
や巨大な猪を挿したように, 槍を投げろ。

Tong, Tang はガジュマルを切ってもら
うためにガマガエルを招いた。ガマガエルは言
った。

「Tông, Tang よ。私はお前が言ったように
腹が出ている。どうしてお前たちを助けられる
だろう? なあ, Tông, Tang!!」

Tông, Tang は答えた。

「私の斧は鋭くないので, あなたの斧を貸し

てください。私の斧は鋭くないので, 猿の斧を
貸してください。私の斧は鋭くないので Dong
の母の斧を貸してください。私の斧は切れない
ので, Yong 蜂の斧を貸してください。」

天のガマガエルは答えた。

「私はガジュマルを切る方法を知ってるよ。
お前はこの木を切るなら, まず磨き, 木の切り
口を見て, 受け口の塊を次第に大きくしろ。最
初は小さい塊からだぞ。それでお前たちは私に
何をくれるんだい? Tông, Tang ?」

Tông, Tang は答えた。

「私はあなたがあのガジュマルを切り倒すま
で, あなたを養い食べさせます。私はあなたに
Yang Sontu に入った酒を与え, 私はあなたに
Yang Sontang⁽⁶⁷⁾に入った酒で接待します。
(切ったら) ガマガエルの背中に, 固い服を差
し上げ, 食事には白蟻を差し上げます。」天の
ガマガエルは七日七晩大きなガジュマルの木を
切り続け, ガジュマルの木は倒れた。この木の
根は Lac bôn Dong (ラック・ボン・ドン) に
あり, 幹は Lac Dăng Ja (ラック・ダン・
ジャー) にあり, 梢はチル人, マー人の方角に
ある。巨大な鷹は, Ha Tông, Ha Tang が楔
を打ち込み死んだ。

3) Ha Tông, Ha Tang は賢明さを失う

Rong の子 Ha Tông, Ha Tang はガジュ
マルの木を切っている間, 彼らはユオンの子 Ha
Chông Bang に, 鷹を撃つための盾として古い
鉦を借りた。そしてユオンの子 Ha Chông
Bang に, ガジュマルの木を切っている天のガ
マガエルに酒を造るために古い yang を借り
た。切っていたガジュマルの木が倒れたので,
ユオンの子 Ha Chông Bang は彼らの使ってい
た yang と鉦を取り立てにやってきた。Rong
の子 Ha Tông, Ha Tang はユオンの子 Ha
Chông Bang と 殴り合い, Rong の子 Ha
Tông, Ha Tang は勝利し, ユオンの子 Ha
Chông Bang は負けに耐えた。それでユオンの
子 Ha Chông Bang は, Ha Tông, Ha Tang の

兄弟や両親のために商売に出かけ、あちこちで Ha Tông, Ha Tang の逞しさと賢さを知らしめた。

ある日、Rong の子 Ha Tông は、家を空け、海にある Lo の水溜りに魚をすくに行つた。それで、ユオンの子 Ha Chông Bang は家に来て Ha Tông, Ha Tang の母に尋ねた。「おーい、お母さん、Ha Tông, Ha Tang の兄さんはどこに行つたんだい？」Ha Tông, Ha Tang の母は返事した。「彼らは海の水溜りに魚をすくに行つちやつたよ。」ユオンの子 Ha Chông Bang は続けて言った。「お母さん、僕らとつてもお腹がすいちゃつたんだ。どうかご飯を炊いて僕らに食べさせてください。」その時、母 Rong は、家の後ろで米を搗いでいて、答えた。「お前たち、私の米はもう炊いちゃつたよ。勝手に食べて。私は米を搗くのに忙しいから。」その間、家には誰もおらず、ユオンの子 Ha Chông Bang だけだつた。彼はお腹がいっぱいになると、Ha Chông Bang は Ha Tông, Ha Tang の聖水（聖 = gơnrơh）を探した。その聖水は家の入り口の前にある2つの水牛の角の中にあつた。ユオンの子 Ha Chông Bang は、一気に飲み干した。母 Rong が家に戻つたとき、聖水はもはや見られなかつた。母 Rong は、ガジュマルの木を取り、海の水溜りにいる Ha Tông, Ha Tang のところまで投げた。その葉には、次のように書かれていた。「ガジュマルの葉を見て、葉を吹いて、早く戻つて来い、鉄砲風で葉はこちらに急いで飛んで来い。風は葉を吹きこちらに戻つて来い。何も考えずに戻つて来い。お前たちの聖水はユオンの子 Ha Chông Bang が盗んでしまつた。」その時、Ha Tông, Ha Tang 急いで帰つた。彼らはユオンの子 Ha Chông Bang を探したが、見つからなかつた。なぜならユオンの子 Ha Chông Bang はすでに逃げてしまつたのである。そして聖水もまた全くなかつた。なぜなら Ha Chông Bang が飲み干したからである。そのとき以来、Rong の子 Ha Tông, Ha Tang

の賢さと逞しさはもはやなく、今日彼らの子孫のすべての世代でも消え去つたのである。最大の鷹は Ha Tông, Ha Tang の楔によって、Rhang Krộc 集落で死に、今日その血で石の色が褐色になつたのである。

これは我々の祖先から継承されてきた、なぜ我々が賢さと逞しさを失つたかという話である。しかし、聖書ははっきりと、正確に人間が賢さと聡明さを失つたかを次のように語る……

（創世記 2：15-17 主たる神がエヴァに善悪の木を食べるなど命ずる場面が引用されているが、翻訳を省略）

（創世記 3：1-7 アダムとエヴァが蛇にだまされ木の実を食べて、腰にイチジクの葉を巻く場面が引用されているが、翻訳を省略）

天におわします神が彼らの罪を処断したあと、かつて太陽の方にあつたエデンの園から人間の子孫を追い出し、すべてのチェルビンは剣を持ち、木の生えている場所まで行く道を見張つたのである。これより、人間は聡明さと賢さを失つてしまつたのである。天におわします神の愛は穢れた罪に日々注がれ、山丘のような神の孝養は、主である天におわします神を通して、人間に対して与えられるのである。

4. 山に対する禁忌と崇拜の伝承

1) ランビアン（18）の創造

我が祖先は昔語つた。かつて、土を取り盛つてランビアンを作つた。また、人は Kang Rmai（18）の地を取り、ランビアンに盛り、Krai Klong Ju Tang の地を取つてランビアンに盛つた。やわらかい木と一緒に盛り、井戸の水と一緒に盛り、弦のように延び、ランビアンを覆つた。Todrung 山のふもとに盛り、Nhiong の川でかき混ぜ Tadra 山に盛り、ランビアン（18）の右側を盛つた。ランビアンは小さい小さい、人はすずめを飛ばし、ランビアンは小さい小さい、

人は鷹を飛ばし、黄金のランビアンは bung の鳥を飛ばし、一日中 bung の鳥を飛ばした。鷹を天穹に飛ばす。言い伝えは次のように語る。

日夜、ランビアン山のふもとでは人は地をやわらかくし、日夜、人はランビアン山のふもとで白蟻の堆土のように叩いて次第に高くし、人は日夜ランビアン山のふもとで階段を踏み始める。人は籐の弦をランビアン山のふもとに植え、ランビアン山のふもとの dăm-bla⁽¹⁹⁾ の籐の弦は新芽を出し、ランビアン山のふもとで dăm-bơ⁽²⁰⁾ の檜の木は新芽を出し、ランビアン山のふもとで dăm-brông⁽²¹⁾ のイグサは新芽を出し、ランビアン山のふもとで dăm-pāl⁽²²⁾ の桑は新芽を出し、ランビアン山のふもとに莫蘆を巻き、ブランという大きな莫蘆を広げ、ランビアン山のふもとに最大の莫蘆 bup を広げ、ランビアン山のふもとでトラを捕まえ、ランビアン山のふもとにロートの家⁽²³⁾をつくり、ランビアン山のふもとに群れを率いる。おーい。barbac 鳥⁽²⁴⁾よ。僕のところに来ておくれ。おーい。双頭のすずめよ。僕のところに来ておくれ。おーい。二本足の人間よ。僕のところランビアン山を禁忌と崇拝するために来ておくれ。Ha Tông, Ha Tang は小鳥を招き捕まえ、私は話をしたい、私は小鳥 (chim tay)⁽²⁵⁾ を招き捕まえ、道を教えたい、私は雄のリスを招きたい、私はランビアン山を叩くためにそれが木を引っ張ることを告げ、人はランビアン山を天の中心と呼ぶ。

また、ランビアン山の禁忌についての言い伝えは以下の通りである。

日夜ランビアン山のふもとでは人は柔らかくし、人は叩いて白蟻の堆土をつくり、人はランビアン山のふもとで日夜階段を登る。森の牛、森の水牛はランビアン山のふもとにいる、うさぎはランビアン山のふもとに寝る、鼻を震わせナイ鹿はランビアン山のふもとに寝る。おーい、porjòc 鳥よ。僕のところに来ておくれ。おーい、すずめよ。空高く飛び、ランビアン山を叩くために僕のところに来ておくれ。

2) クラジョン、クラジャン

クラジョン、クラジャン、木の幹は地から生え、固い幹は土の穴から芽を出す。尾のない鶏は、いつもこの木の幹を蹴るが、Yut dăm Dung おじさん、Tông dăm Dang おじさん、Tang dăm Dong おじさんはいない。どうして固い幹が存在するんでしょう？お前は大きな犬に dăm Dung の名を与える。お前は黒犬に dăm Dang の名を与える。お前はまず、遅しい足の雄犬にこの幹を引っ張るために割らせる。ひとつの指先の長さの固い幹を取り、まず、ランビアン山を測り、一つの肘から指先の長さの固い幹を取り、ランビアン山を支える。ランビアン山の左側は菩提樹の幹で支え、ランビアン山の右側は長い幹で支え、中心はわが同胞が支え、年長の女性は夫をとる（婚礼）時に鉦を与える。このことは、我が同胞が今日まで従い、そしてどんな年長の女性も男性と結婚したいので、交換するための鉦を夫に与えなければならない。

（以下 旧約聖書 創世記 1 章31節まで再度引用）

なぜ人間が罪を認めず、そして天におわします神を崇敬するのか、上記の啓示にある。従って、天におわします神はかつて一度罰を受けられたのであり、そして我々はそのことを思いさなくてはならない。

5. 水が増し海になる（大洪水）伝承

我が祖先は語る。人間が日増しに増えていたとき、塵界における多くの罪が発生していた。Yang Brah Ndu は大洪水で人間を滅ぼそうとしていた。人間からあらゆる 4 本足の動物、天を飛ぶあらゆる鳥まで大洪水で死滅させ、たった 2 人の姉弟（兄妹）が太鼓の中に入り、そして 4 本足の類の雄と雌とあらゆる鳥たち、海の魚が一緒だった。この二人の名は Phy と Phăn だった。祖先は大洪水になるのを知っていたので Phy と Phăn の両親は二人を入れるため太

鼓を準備した。集落じゅうは飲んで食って男と女は婚礼をし、夜も昼もそんなだった。飲み食いしている間大雨が降ってくるまで、全ての長老も村人たちも、ある人たちは酔っ払い、ある人たちは大騒ぎをしていた。女性たちは誰も飲んでなかったの、彼女たちは夜になって大雨が降り、海が次第に嵩を増すと、すぐに全ての長老たちに戻って告げた。「おーい、おじさんたち、もう海よ。さあ、水で死ぬことがないように我々がいることのできる高い山を探しましょう。」全ての長老は返事した。「死にゃあしないよ。茅がなくなったときが、人間が消えるときだよ。」彼らが言い合っている時、あちらでは、地面を飲み込んでいた。全ての人々は間に合わず、一部の人は走ったが足取りは重く、海に死ぬことを耐えなければならなかった。水は増し海になって埋め尽くし、Mburの丘が siêng という篩の縁だけ残り、Lâm Biang は dông という篩の縁だけ残り、Pang Tông の丘は槍1本分、yang R'la は老松の木1本分だけだった。子の入った太鼓はランビアンの上の丘の上に120日もの間漂い、水は次第に引き、太鼓はランビアンの子とランビアンの子の間に引かかかった。Phy と Phăn は水が引いたことを知り、太陽の光が太鼓の中に入るのを見て、Phy と Phăn は喜んで太鼓の扉を開け、二人の姉弟(兄妹)は中にいた4本足の動物と一緒に出た。その間、彼らは天が奇妙で、地は混ざり合い、山や丘がもう以前のように美しくなくなったことに気付いた。

太鼓から出たとき、Phy と Phăn は燃やす火を持っておらず、飲み水もなく、それで Phy は立ち上がるやすぐに乾いた薪を折り、Phăn は立ち上がるやすぐに siêng の木を折り、手のひらと甲を使って siêng の籐の弦を引き、煙を出して火を起し、喜び、吹いて燃え上がったのを見て。姉弟(兄妹)は声を上げて喜び笑った。姉弟(兄妹)はほかに人がいないことをみて、二人は結婚し、その違犯に水は流れることはなかった。それで言い伝えは次のように語

る。「おーい、Phyさん、あなたは左に行き、食べるご飯がない、あなたは右に行って飲み水がない。尻に息も届かない。食べるものがない。焼くための魚がない。日差しから隠れるものもない。体の汚れを洗うものもない。彼らは水神に次のように祈った。

「おーい、水の女神よ。どうか、まず私に山腹を上らせてください。おーい、水の女神よ。まず平地を耕させてください。おーい、水の女神よ。まず水を少しずつ降らせて下さい。あなたは水の神に供えた生まれたばかりの豚を受け取ってください。水の神に供えた子ヤギ、生まれたばかりのひよこ、生まれたばかりの水牛を受け取ってください。あなたは兄妹(姉弟)が愛し合うのを認めないので、水の流れがありません。あなたは私たちの結婚を許さないの、あなたはしょうがと唐辛子を搗くのを許さないの、水の流れがありません。湧き水で私に顔をきれいに洗わせてください。強い流れで私に頭を洗わせてください。霧の水で私に葉⁽²⁶⁾できれいにさせてください。ウクウクと魚の鼻、魚の目、ウルウルと魚の鼻、魚の目、固い木、鼻水、涙。チチと蟹が泥の中において、トトと蟹が痕をつける、犬の咆哮が山びことなり、鶏の知らせは山びことなり、主人に気付かせ、ウナギ(Ndung)の尾からその水が流れる、毒蛇(Ndal)からその水が流れる、なまず(Ka-Ko)からその水が流れる、ケツケツと沸騰したお湯が音をたて、コッコツと沸騰した里芋スープが音をたて、囲炉裏は、お茶を沸かす。私は双頭の豚を水の神にお供えします。私は双尾の牛を水の神にお供えします。私は二つの翼を持つジェン鳥を水の神にお供えします。子を与えます。プルムの娘 Gut を水の神にお供えます。子を与えます。Crau(我々)の娘 Grām を水の神にお供えます。子を与えます。Lac(ライツク)の娘 Grao を水の神にお供えます。Ôc おじさんは Brông と愛し合ったので天に罰せられました。Tông おじさんは Jang と愛し合ったので天に罰せられました。Tang おじさんは

Srai と愛し合ったので天に罰せられました。Mai Rse は Jieng の子、Krieng と愛し合ったので天に罰せられました。姉(妹)と愛し合ったので雷が私を撃ち、母と愛し合ったので雷が集落を撃ち、子供と愛し合ったので雷が頭を撃つ。

おーい、お爺さん、お婆さん、兄弟たち、僕を愛しておくれ。これは非常にはっきりした古伝承で、昔から今まで非常に厳しい禁忌である。兄弟(姉弟)の禁忌は次の通りである。

1. 天におわします神が処断する
2. 長老が非常に重く罰する

海の水位が増しくつつき、残ったのは一人の女と一人の男、海の水位が増し角にくつつき、残ったのは一人の女と一人の男、海の水位が増し腹の肉をつかみ、残ったのは一人の女と一人の男⁽²⁷⁾、Dăm Bla 川の蛙、残ったのは一人の女と一人の男、Dăm jong 川の魚、残ったのは一人の女と一人の男、Dăm bri 川の蛇、残ったのは一人の女と一人の男。

Phy と Phăn は太鼓から出たあと、子供を背負い、米をまく。背負っている最初の子は Ka Grup で、ブルム人やラデ人、そしてほかの全ての異なるつながりである。二人目に生まれたのは K'Grom で、スティエン人とほかの全ての異なるつながりである。3人目に生まれたのは K'Gro で、ライック人とほかの全ての異なるつながりである。4人目に生まれたのは K'Pac で、チル人とマー人のつながりである。5人目に生まれたのは K'Nga で、北と南のユオンのつながりである。6人目に生まれたのは K'Nge で、アメリカ人とフランス人、そしてほかの全ての異なるつながりである。

(以下、旧約聖書 創世記 6章から9章を引用、省略)

このように、祖父母は地獄に落ちるのを躊躇せず、ノアの8人家族だけが、その8人から子孫を生み、彼らはただ生きる術のみを伝え、今日まで、神の道にある。ただ祖先は凶悪な悪魔

を崇拜したが、子孫たちは誰もそれに追従せず、ノアは今日までこのように生きながらえたのである。

6. Măng Ling (光) Măng Lo (闇) の伝承

我が祖先は昔のことを語る。: Măng Ling Măng Lo 地球全体を漆黒の闇が覆い、天も地もみえず、同胞は知っていたが何もできなかった。準備のできた人は全ての食料と野菜を探し出し出していた。Măng Ling Măng Lo の日になり、天地全体が真っ暗闇になったので、家の中にいなければならなかった。二人の男女の家族 K' Dung と K'Brah は全く準備していなかった。その日、薪を取りに行き、突然昼間だというのに真っ暗になり、帰り道がわからなくなり、二人は恐怖に覆われ、固く抱き合った。その凍てつく寒さと漆黒の闇に耐えきれず、二人はその日のうちに死んでしまった。その日から、ライック人(ラット人)⁽²⁸⁾の集落は Măng Ling⁽²⁹⁾ と呼ばれ、Rhang Kroac には人間の頭に似た石があり、二人の人間の手は固く抱き合っている。1958年、カトリックの神父がその石を彼の教会に持ち込んだ。そのことは多くの同胞が知っているが、どんな意味があるのかわからない。

言い伝えは次のように言う。Măng Ling (日蝕) は光で Măng Lang は闇、天は光を射さず、大きなガジュマルの木が覆い、天は光を射さず、jrang lieng の木が覆い、天は光を射さず、sieng が覆い、Măng Ling に光なく、Măng Lang は闇。小雨の時は僕は Jrah の集落で過ごし、雨が降ったりやんだりのときは Jrai 集落ですごし、長雨のときは Drun 集落ですごし、1本の手、1本の足を曲げて石を盛り、1本の手、1本の足を曲げて私は丘の上を盛る。

昔、1940年前、昼間に真っ暗闇になる日があった。それは天におわします神の子イエスが人間の全ての罰を受け亡くなった日である。聖書は次のように述べる。

(以下、新約聖書、マタイによる福音書27章31節から54節—イエスが十字架につけられてから死、死とともに起きる怪奇現象までの場面—を引用、新約聖書、ペテロ第一の手紙3章18節—キリストが人の罪で死亡したという一文—を引用、省略)

このように、全ての祖父母兄弟は、昔の大洪水のときのように、あるいは今ここで述べたばかりの Mãng Ling Mãng Lo の日に、まさに我々に対する、罪の審判日に助けてもらうことができるように、イエスキリストが生涯、ドンクラス王になることに同意した。Phy と Phãn はキリストに準備された太鼓のおかげで助かったのであり、ノアは船のおかげで助けられた。今日、我々はイエスによって助けられたことを信じる。愛を信じ、死んでしまった K'Dung や K'Brah のように準備をせずにいることがないように。

我が祖先は次のように語る。「台風は天が各地に告げられる。サルや類人猿⁽³⁰⁾は告げる、雨はビクビクとたくさん降り、雨は降り続け、米はたくさん、雄の水牛は妻を娶りたくさんの雄を生み、礼儀正しくしゃべるとたくさんの客がくる、さあ大きい背負い籠をいっぱいにして小さな腰の籠をいっぱいにしてしよう。青年男女を誘い、上の集落 Phi Prung, 下の集落 Phi Prong, Cil mup, Cil Lieng Jirang は一緒に水を注ぎ、魚を食べ、茅を切り、倉の屋根をかぶせ、一緒に寝て暖かく、一緒に布団を使う。

天におわします神は、稲が伸び、トウモロコシがあり、野菜スープ、芋を人間が食べられるように塵界に天から雨水を与えたのである。天におわします神はすべての人々を愛し、誰一人として死んでしまうのを望まない。「天におわします神は塵界にいるすべての人々を愛し、それで天におわします神の子供をお与えになったのである。その子を信じれば、永遠に生活を得られるのである。

Ⅲ. 分析

まず、『天地創造の昔話』から順に分析していく。『天地創造の昔話』は、ラムドン省に住むモン・クメール系民族共通の創造神である Yang Ndu の天地創造についての昔話を、旧約聖書の創世記の引用によって完全に否定されている。『人間創造についての昔話』は、『天地創造の昔話』の続編である。この話についても、旧約聖書の創世記の引用とチル集団をはじめとするスレ集団、ラット集団の人々が形成する母系社会の根拠を、旧約聖書内に求めることによって、聖書の正当性を強調している。『人間が才能を失った話』では、ユオンの子 Ha Chông Bang と Ha Tông, Ha Tang の関係を、旧約聖書創世記の蛇とアダムとイブの関係とみなして同じ類型の話とし、両者を比較して、聖書の話の正確さを主張する。『山に対する禁忌と崇拜の伝承』では、『天地創造の話』と同様に、旧約聖書の創世記の引用により、否定されている。『水が増し海になる(大洪水)伝承』では、創世記のノアの箱舟伝承と対比している。昔話でフィーとファインが入って洪水を逃れた太鼓は、キリストによって準備されたものと説明されており、奇蹟のディスクール [竹田 2000: 61] とみなしていいだろう。この話の最後に、伝統的な信仰を rùp ræk (魔物) の宗教と呼んでいる。これは、神—悪魔の思考法⁽³¹⁾ [竹田 2000: 54] が用いられ布教されていることを示している。『Mãng Ling (光) Mãng Lo (闇) の伝承』では、日蝕をイエスの死によって発生した怪奇現象の一つである説明している。また、雨水を神からの授かり物とする。つまり、神の意志や恩恵によって発生したと解釈する神の摂理のディスクール⁽³²⁾ である。

こうしてみると、紹介した資料の中で、昔話は聖書と内容と比較して、劣と断定され、従って伝統宗教は劣とされる。そして戦略邑という教会の建設を伴う定住化政策は、竹田が紹介し

ている16世紀後半にスペインによって新大陸で行われたレドゥクシオン政策⁽³³⁾と酷似している。定住化政策とそれに伴って行われるキリスト教の布教は「文明」であり、従来の宗教と移動しながらの焼畑耕作する生業は「野蛮」なのである。キリスト教は「文明」という名のもとに、政治的支配を側面から支援し、さらにはキリスト教信者を「味方＝善」とし、伝統宗教を信じる異教徒を「敵＝悪」として戦争の正当性を側面から支援していることを示している。

2010年3月、ラムドン省の各地でこの資料の写しを持ち、長老を訪問していた際、異口同音に出た言葉は「これにでてくる昔話は私が両親によく聞かされた話だ。しかし、もはや我々が自分の子供に話すことはなかった。今、この話をきちんと語れるものはいないだろう」であった。つまり、この資料は、皮肉にも伝統文化の破壊者であるキリスト教によって文字化され、記録として残り、伝統文化である古伝承が守られているといえることができる。

IV. おわりに

本稿は最初に述べたように翻訳が主目的であった。そのため複数の資料を用いて比較、分析することはしなかったし、まだそれをするだけの資料も集まっていない。今後は少数民族地区においてさらなる宗教関係資料の収集を行い、少数民族への宗教の伝道がどのように少数民族に受け入れられていったかについて、聞き取りを中心にして、分析に努めていきたい。

<注>

- (1) ドゥクチョン県、ラムハー県、ダムロン県、ラクユオン県、ドンジュオン県、ダラト市が主なチル集団の居住地である。
- (2) コホー族には複数の地方集団がある。スレ、チル、ラット、トリンなど。
- (3) 1911年、ダナンからの布教が最初である。ハーバード・ジャクソン (HABARD Jackson) 師によりラムドン省の布教が開始された (1929年)

[Hickey 1982 : 310, 339]。

- (4) 戦略邑 (strategic hamlet) とは、革命勢力の影響を逃れさせるために、少数民族の複数の集落を統合して住民を集住させ、生活させた。
- (5) Hội Thánh tin Lành Việt Nam (Miền Nam) このヴェトナム語の名称は1950年より使用している [Hội Thánh Tin Lành Việt Nam (Miền Nam) : 2001 : 5] 参照。
- (6) アメリカに本部を置く、キリスト教系の言語研究の非営利団体 (<http://www.sil.org/> 参照)。
- (7) 聖書の最初の一部文字化は1950年である。聖書教会 HP (<http://www.worldscriptures.org/pages/koho.html> 参照)。
なお、仏領期にはスレ語には別の文字表記が作成されている。
- (8) 精霊, 魂。
- (9) 主 (しゅ)。
- (10) 省略した聖書の創世記1章25節までを指す。
- (11) Lũ khai-tiãng-nir は一つの大きな石で非常に大きな音を発し、その音はチャム人のいる平野部まで鳴り響き、チャム人をつんばにした。そのためチャム人はこの石を探して壊し、音を出さなくしようとした。これは霊験新たな石で壊せなかった (キン族は靈魂の石と呼び、そこにある滝は靈魂の滝 (民族名: Băl - Biãng の滝) と呼ばれる。その地は現在のダムロン県ダトン社にある K'Kon 温泉から20キロの場所にある。) 非常にたくさんのチャム人が壊そうとやってきては死んだ。伝説では、ここに来た人々は次のように言う。禁忌ではないが神聖な場所を侵そうとすれば、必ず罰せられるのである。
- (12) Cây si ガジュマルの一種。
- (13) ラムハー県ビンタン (Bình Thanh) 社にある。
- (14) チャム人が来て霊験あらたかな地で何が起きたのかはっきりさせるためにコホー人を招いたが、コホー人は行きたがらず、チャム人はあきらめて自分の住む平野に戻った。
- (15) 家の屋根を支える垂木に用いる木。
- (16) この蜂は木の上に巣を作った。
- (17) Yang Sontu, Yang Sontang はともにその価値

- が12頭の水牛に匹敵する価値を持つという酒甕。
- (18) 現在のダクノン県ラックティエン社にある地名。
 - (19) 背負い籠を編む時に使用する籐。
 - (20) 家を作るのに用いる木。
 - (21) 莫産を編むための木。
 - (22) 板加工に適切な木。
 - (23) ロングハウス。
 - (24) 頭の白い鳥。
 - (25) 親指大の小鳥。
 - (26) 女性が男性の気をひくような化粧をすること。
 - (27) 「水位が上昇していくうちにつかまる場所が変わり、最後は腹の肉をつかむ」の意。
 - (28) コホー族の一地方集団。現在、ラクユオン県に居住している。
 - (29) そこには寒さのあまり2頭の水牛が尾を絡めたまま石になってしまったという謂われのある石があるという。
 - (30) 小型のサルで、目は大きい。その毛は火災除けとして家の中に置かれる。
 - (31) 「キリスト教から見て……他の宗教は……悪魔の産物で、悪魔が人々をだまして信じ込ませている」。
 - (32) 書き方や論じ方 [竹田 2000 : 38]。
 - (33) 山岳民を平地に集住化させ、生活するのに必要な技術を教え、宗教上は改宗を求めて行く政策 [竹田 2000 : 125-126]。

<参考文献>

Bùi Minh Đạo (ed)

2003 *Dân tộc Cơ ho ở Việt Nam*, Hà Nội: Nhà xuất bản Khoa học Xã hội. (ヴェトナムにおけるコホー民族)。

Hickey, Gerald Cannon

1982 *Son of the mountain: Ethnohistory of Vietnamese Central Highlands to 1954*. New Haven: Yale University Press

Hội Thánh Tin Lành Việt Nam (Miền Nam)

2001. *Kỷ Niệm 90 năm tin lành đến Việt Nam 1911-2001, Những sự kiện và hình ảnh* (プロテス

タント来越90年記念 (1911-2001) : 出来事と写真)。

竹田英尚

2000『キリスト教のディスクール』京都：ミネルヴァ書房。

<インターネット資料>

SIL International

— What is SIL International?

<http://www.sil.org/sil/> (September 18,2009)

The United Bible Societies

— World Scriptures <http://www.worldscriptures.org/pages/koho.html> (August 8,2009)